

# KENWOOD

ディスクチェンジャーコントローラー/FMモジュレーターシステム

## KCA-R71FM

---

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

# DISC CHANGER CONTROLLER / FM MODULATOR SYSTEM

## C O N T E N T S

|             |   |
|-------------|---|
| この取扱説明書の読み方 | 3 |
| 安全上のご注意     | 4 |
| 使用上のご注意     | 6 |

### 操作のしかた

|   |    |
|---|----|
| パワーオン、パワーオフ、ソース選択、ポーズ/プレイ、ストップ                    | 8  |
| 早送り/早戻し、トラックサーチ、ディスクサーチ、ダイレクトトラックサーチ、ダイレクトディスクサーチ | 10 |
| トラック/ディスクリピート、トラックスキャン                            | 12 |
| トラックランダム、マガジンランダム、フォルダサーチ                         | 14 |
| テキスト/タイトルスクロール、表示切り替え                             | 16 |

### メニュー

|             |    |
|-------------|----|
| メニュー設定      | 18 |
| 取り付け上のご注意   | 20 |
| 取り付け・接続のしかた | 22 |
| 故障かな?と思ったら  | 26 |
| 保証とアフターサービス | 30 |
| 仕様一覧        | 31 |

## この取扱説明書の読み方

- 機能の名称が書いてあります。

### トラックスキャン

ディスクやMP3フォルダ内の聴きたい曲を探す

- 機能の簡単な説明が書いてあります。



SCAN[SCAN]ボタンを押す。

トラックスキンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の最初の部分を次々に10秒間ずつ演奏します。

トラックスキンプレイ中はSCANインジケーターが点灯します。

- SCAN[SCAN]ボタンを押す。

リモコンのボタンを示します。

ディスプレイユニットのボタンを示します。



- ディスプレイの表示例を示します。



▶ 聴きたい曲の再生が始まったら  
SCAN[SCAN]ボタンを押す。

トラックスキンプレイが解除され、通常のプレイになります。

MEMO ▶

聴いているディスクのトラックやMP3フォルダ内のファイルを全てスキャンすると、トラックスキンプレイは解除されます。

- 操作に関する補足説明が書いてあります。



ボタンを押し、すぐに手を離します。



ボタンを押し続けてから手を離します。

ご使用の皆様へ

## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため  
「安全上のご注意」をご使用前に  
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

⚠ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

🚫 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

📌 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

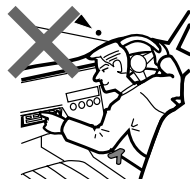
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 警告



実施

運転者が音量調節などのカーオーディオの操作するときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行なってください。



実施

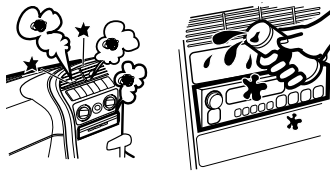
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケントウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 水がかかった
- 異物が入った
- 煙が出る
- 変な匂いがする



# 注意



禁止

修理は必ずご購入店にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



実施

液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼす恐れがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

リモコンには指定以外の電池を使用しないでください。また、電池の入れ替えは極性に注意し指示通りに行ってください。乾電池の破裂、液漏れなどにより、火災や怪我の原因となることがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のためくお買い上げの販売店>にご依頼ください。

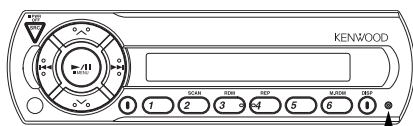
# 使用上のご注意

## 取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

本機の取り付けが不安定のまま使用すると故障の原因となります。本機は確実に固定し使用してください。

初めてお使いになるときや、バッテリーを交換したときは、ペンの先などでリセットボタンを押してから使用してください。



リセットボタン

## セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

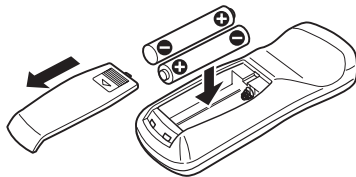
## セットのお手入れについて

本機が汚れたときは、シリコンクロスが柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## リモコンについて

付属の乾電池（単三型2本）を $\oplus$ / $\ominus$ の向きを正しく合わせて入れてください。



操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

リモコンを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）温度が高くなるような場所に放置しないでください。

## 本システムを使用すると・・・

カーラジオ（カーステレオ）によってはエンジン始動時に、一時チューナーの音になることがあります。

本機を使用すると、チューナーの感度が少し落ちる場合があります。

## 本機に接続するディスクチェンジャーについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できるディスクチェンジャーの機種はカタログをご覧ください。

1997年以前のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

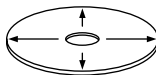
“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

## CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤やシンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

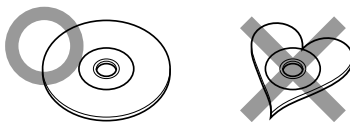


## MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

## 使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用するとCDチェンジャーの故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。CDチェンジャーの故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

# 操作のしかた

## パワーオン

ディスクの演奏に切り替える



**SRC[SRC]**ボタンを押す。

本機の電源がオンになり、ディスクの演奏が始まります。

ディスクNo.表示

トラックタイム表示



トラックNo.表示

- MEMO** ▶ ●お買い上げ時はFMモジュレーターの周波数は88.3MHzに設定されています。カーFMラジオも同じ周波数に合わせてください。
- FMモジュレーターの周波数は87.7MHz～89.9MHzの範囲で0.2MHzステップずつ切り替えられます。設定のしかたは「FMモジュレーター周波数設定」(20ページ)をご覧ください。
- ディスクの音声とFM音声の音量が大きく違う場合は「FMモジュレーターレベル設定」(20ページ)を参照し設定値を変えてください。

## パワーオフ

カーFMラジオの音声に切り替える



**SRC[SRC]**ボタンをディスプレイの表示が消えるまで押す。

本機の電源がオフになり、カーFMラジオの音声に切り替わります。



- MEMO** ▶ ●本機の電源をオフにするとカーFMラジオの音量が急に大きくなる場合があります。電源をオフするときは、カーFMラジオの音量を一旦下げてください。
- 本機を接続すると、本機の接続前に比べラジオの受信感度が下がります。

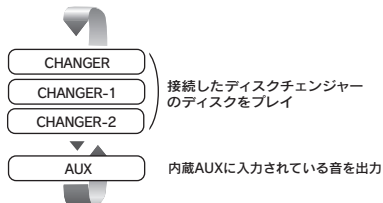
## ソース選択

プレイするソースを切り替える



**SRC[SRC]**ボタンを押す。

押すたびにソースが次の順で切り替わります。



- MEMO** ▶ AUXは次の別売品を接続しているときでのみ選択できるソースです。なお、別売品を接続すると、リモコンでパワーオフとストップの操作はできません。
- KCA-S220A
  - KCA-S210A
  - CA-C1AX

## ポーズ/プレイ

ディスクの一時停止と再生



**|||▶|||**ボタンを押す。

押すたびにポーズ/プレイを繰り返します。

- MEMO** ▶ 本機はMP3対応CDチェンジャーのコントロールが可能です。MP3の詳細説明については、MP3対応CDチェンジャーの取扱説明書を参照してください。

## ストップ

ディスクの再生を停止する

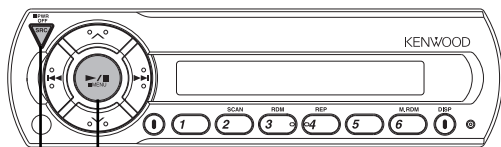


**SRC[SRC]**ボタンをディスプレイの表示が消えるまで押す。

本機の電源がオフになり、カーFMラジオの音声に切り替わります。



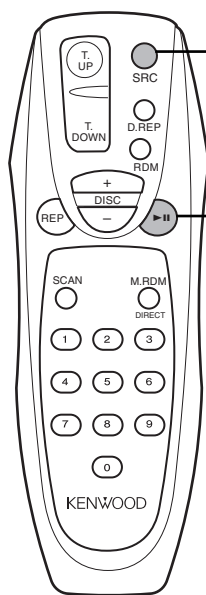




SRCボタン



▶IIボタン



SRCボタン



▶IIボタン

# 操作のしかた

## 早送り/早戻し

聴きたい演奏箇所を選ぶ



◀または▶ボタンを押し続ける。  
◀ボタンを押し続けると手前へ早戻しし、▶ボタンを押し続けると先へ早送りします。希望の所で指を離します。

## トラックサーチ

聴きたい曲を選ぶ



◀[T.DOWN]または▶[T.UP]ボタンを押す。

◀[T.DOWN]ボタンを押すと手前の曲になり、▶[T.UP]ボタンを押すと先の曲になります。

聴きたい曲のトラックNo.が表示されるまで押します。

D03T02 0:01

トラックNo.

## ディスクサーチ

聴きたいディスクを選ぶ



へ[+]または∨[-]ボタンを押す。  
へ[+]ボタンを押すと次のディスクになり、∨[-]ボタンを押すと前のディスクになります。  
聴きたいディスクNo.が表示されるまで押します。

D03T02 0:01

ディスクNo.

## ダイレクトトラックサーチ

聴きたいトラックNo.を入力して選ぶ



- 1.聴きたいトラックNo.の[ナンバー]ボタンを押す。  
押したトラックNo.が表示されます。

D03T02 0:01

トラックNo.



- 2.トラックNo.が表示中に[T.DOWN]または[T.UP]ボタンを押す  
入力したトラックNo.にサーチします。

## ダイレクトディスクサーチ

聴きたいディスクNo.を入力して選ぶ



- 1.聴きたいディスクNo.の[ナンバー]ボタンを押す。  
押したディスクNo.が表示されます。

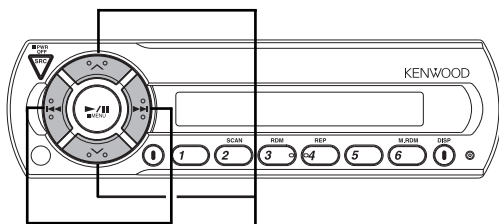
D03T02 0:01

ディスクNo.



- 2.No.が点滅中に[+]または[-]ボタンを押す。  
入力したディスクNo.にサーチします。

MEMO ▶ 10番目のディスク番号は“0”と表示されます。



◀▶ボタン



へ/ゝボタン



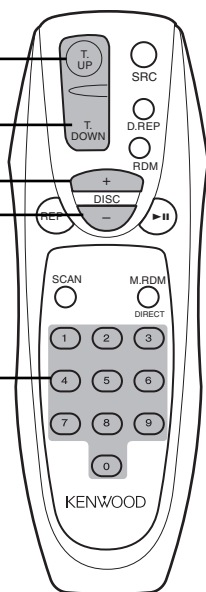
T.DOWN/  
T.UPボタン



+/-ボタン



ナンバー  
ボタン



# 操作のしかた

## トラック/ディスクリピート

同じ曲、同じディスクやMP3フォルダを繰り返し聴く

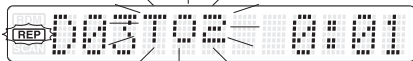


REP[REP]ボタンを押す。

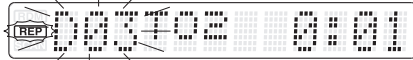
押すたびにリピートプレイが次の順で切り替わります。



トラックリピート中は、REPインジケータが点灯し、トラックNo.が点滅表示します。



ディスクリピート中は、REPインジケータが点灯し、ディスクNo.が点滅表示します。



## トラックスキャン

ディスクやMP3フォルダ内の聴きたい曲を探す



SCAN[SCAN]ボタンを押す。

トラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の最初の部分を次々に10秒間ずつ演奏します。

トラックスキャンプレイ中はSCANインジケータが点灯します。

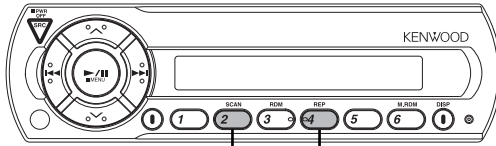


▶ 聴きたい曲の再生が始まったら

SCAN[SCAN]ボタンを押す。

トラックスキャンが解除され、通常のプレイになります。

**MEMO** ▶ 聴いているディスクのトラックやMP3フォルダ内のファイルを全てスキャンすると、トラックスキャンプレイは解除されます。

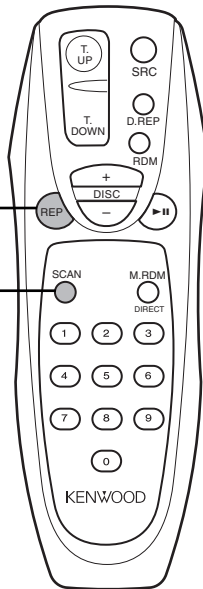


**A**  SCANボタン

**B**  REPボタン

**B**  REPボタン

**A**  SCANボタン



# 操作のしかた

## トラックランダム

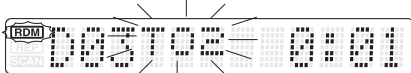
ディスクやMP3フォルダから曲をランダムに選択して再生する



**RDM[RDM]**ボタンを押す。

トラックランダムプレイがオンになり、聴いているディスクやMP3フォルダから自動的に曲を選んで演奏します。

トラックランダムプレイ中はRDMインジケーターが点灯し、トラックNo.が点滅表示します。



▶ 次の曲を聴く

▶▶[T.UP]ボタンを押す。



▶ 解除する

**RDM[RDM]**ボタンを押す。

## マガジンランダム

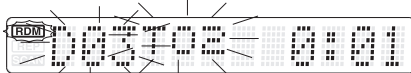
ディスクマガジン内のディスクから曲をランダムに選択して再生する



**M.RDM[M.RDM]**ボタンを押す。

マガジンランダムプレイがオンになり、マガジン内のディスクから自動的に曲を選んで演奏します。

マガジンランダムプレイ中はRDMインジケーターが点灯し、ディスクNo.とトラックNo.が点滅表示します。



▶ 次の曲を聴く

▶▶[T.UP]ボタンを押す。



▶ 解除する

**M.RDM[M.RDM]**ボタンを押す。

## フォルダサーチ

聴きたいMP3フォルダを選ぶ



1.▶/||[▶||]ボタンを押す。

フォルダサーチを始めます。



2.∧[+]または∨[-]ボタンを押す。

∧[+]ボタンを押すと次のフォルダになり、∨[-]ボタンを押すと前のフォルダになります。

聴きたいフォルダNo.が表示されるまで押します。



フォルダNo.

**MEMO** ▶ フォルダサーチ中はファイルNo.表示がフォルダNo.表示に替わります。



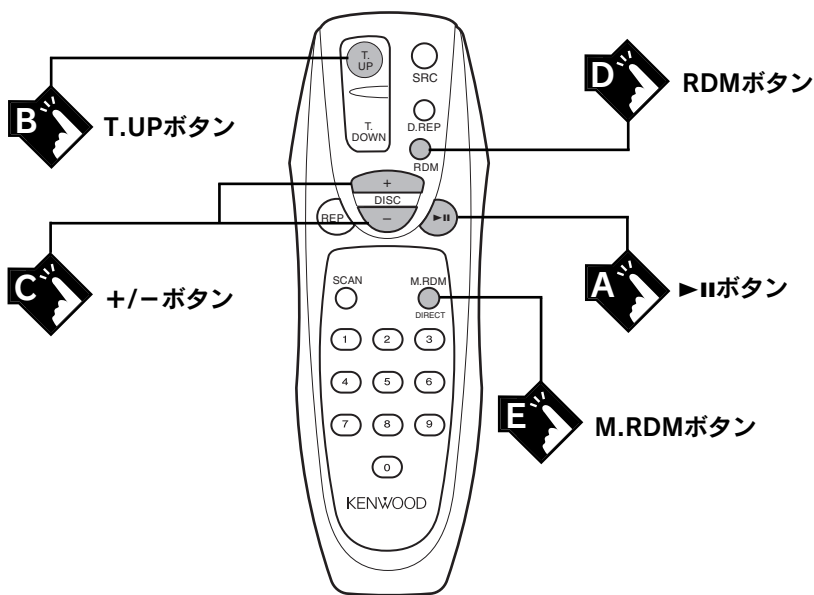
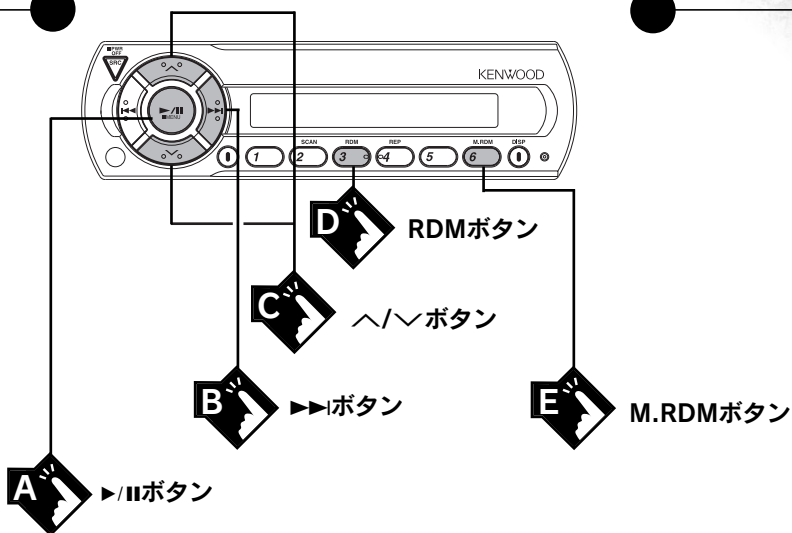
3.▶/||[▶||]ボタンを押す。

聴きたいフォルダを選びます。

フォルダサーチが解除され、ディスプレイに表示されたMP3ファイルが再生されます。



MP3ファイルNo.



# 操作のしかた

## テキスト/タイトルスクロール

CDテキストまたはMDタイトルをスクロールする



**DISPボタンを1秒以上を押す。**  
表示中のテキストが1回スクロールします。

## 表示切り替え

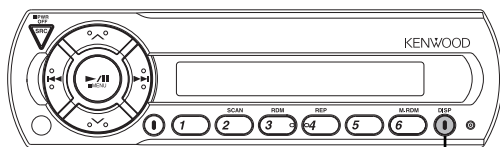
ディスプレイに表示される情報を切り替える



**DISPボタンを押す。**  
押すたびにディスプレイに表示される情報が次の順で切り替わります。







DISPボタン

# メニュー

## メニュー設定

FMモジュレーター周波数などの各種の機能を設定します。



1. MENUボタンを一秒以上押す。  
メニューモードにします。  
“MENU”と表示されるまで押し続けます。



2. へまたは∨ボタンを押す。  
設定項目を選択します。



3. ◀または▶ボタンを押す。  
設定値を選択します。  
設定できる項目と値は次のとおりです。

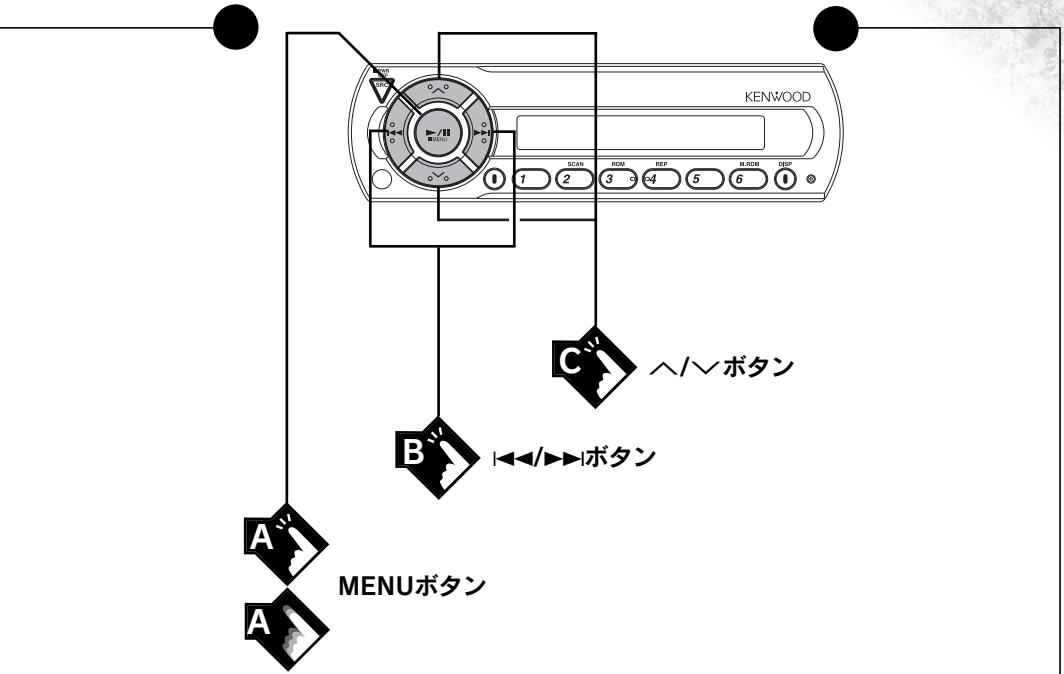
| 設定項目                          | 設定値  |
|-------------------------------|--|
| T-FREQ<br>(FMモジュレーター周波数設定)    | 87.7/87.9/88.1/<br><b>88.3</b> /88.5/88.7/<br>88.9/89.1/89.3/<br>89.5/89.7/89.9<br>MHz |
| MOD LEVEL<br>(FMモジュレーターレベル設定) | 1/2/3/4  |
| D-CONT<br>(歪低減設定)             | ON/OFF   |
| SCROLL<br>(テキスト表示のスクロール設定)    | MANU/AUTO  |

(太字：初期設定値)

- MEMO ▶
- “MOD LEVEL”項目は、設定値が大きくなるほどFMモジュレーターレベルが大きくなります。
  - “D-CONT”項目を“ON”に設定することにより音の歪を低減することができます。ただし、“ON”に設定していても録音レベルの高いディスクを再生中は、音が歪むことがあります。そのようなときは、“MOD LEVEL”項目の設定値を小さくしてください。
  - スクロールするテキストは次のとおりです。
    - CDテキスト
    - MDタイトル



4. MENUボタンを押す。  
メニューモードを終了します。



MENUボタン



◀▶ボタン



⤴⤵ボタン

# 取り付け上のご注意

## 警告



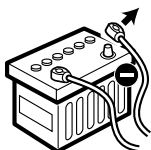
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



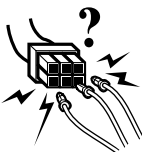
実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



### 禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



### 実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



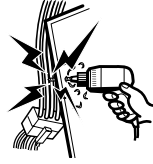
### 実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



### 注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



### 実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



### 注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



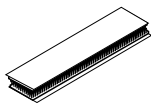
### 実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

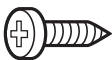
# 取り付け・接続のしかた

## ❖取り付け部品

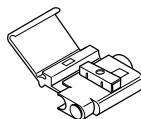
①マジックテープ×1



②タッピングネジ  
(φ4×12 mm)×2



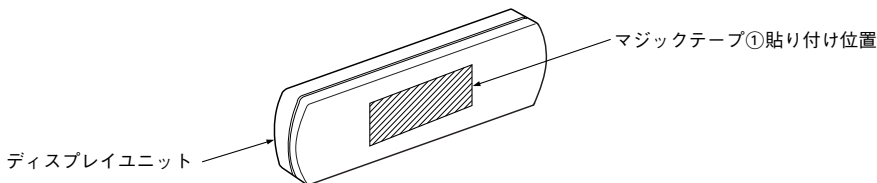
③電源中継コネクター×2



取り付けには付属のネジを使用してください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

注意

## ❖ディスプレイユニットの取り付け



1. マジックテープ①を貼り付ける場所の汚れをよく拭き取ります。

**MEMO** ▶ 取り付ける場所の温度が低いとテープの粘着力が弱まります。温度が低いときはヒーターをつけるなどして、車内の温度を上げてから取り付けるようにしてください。

2. ディスプレイユニットにマジックテープ①を貼り付けます。

3. マジックテープ①のはくり紙をはがし、ディスプレイユニットを車両側に貼り付けます。

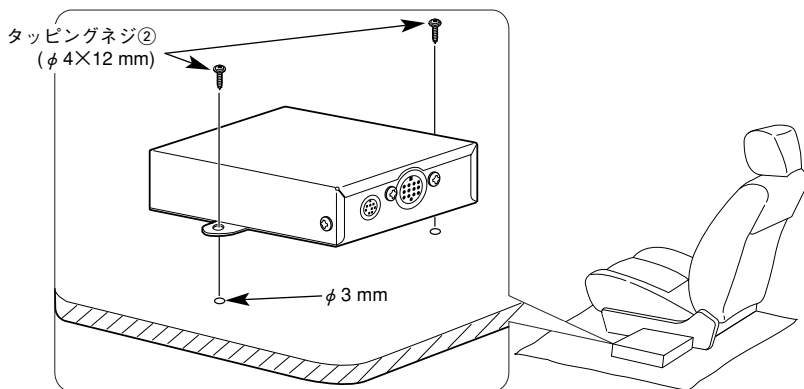


注意

- ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所や高温になる場所へ取り付けたり、放置しないでください。熱による変形、破損の原因となります。
- 取り付け場所により、リモートコントロールユニットの信号を受信できない場合がありますので、受信が可能なことを確認してから取り付けてください。
- 運転の妨げにならないように取り付けてください。

## ❖FMモジュレーターユニットの取り付け

タッピングネジ②を使ってフロントシートの下に固定します。



**注意**

シート下などに固定する場合、配線ケーブルがシートのレールなどにはさまれると、断線が起こり、故障の原因となります。FMモジュレーターユニットを取り付けたあとで、シートを動かしてケーブルがはさまれないか確認してください。

# 取り付け・接続のしかた

## ❖ 接続

### ■ 接続順序



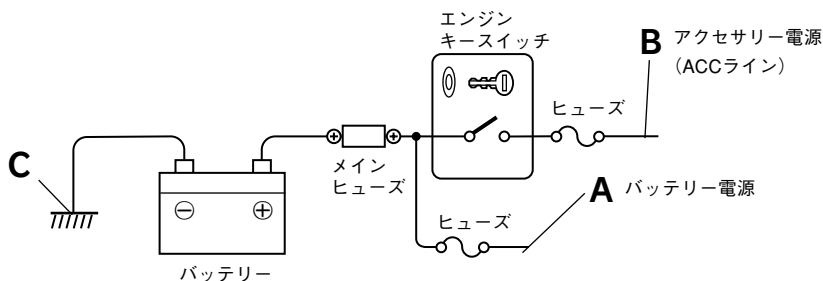
初めに、エンジンキーが抜かれているのを確認し、ショート事故防止のためバッテリーの端子を外してください。

1. 各セットの入出力コードを確かめて接続します。
2. アースコード (黒)、バッテリー電源コード (黄)、アクセサリ電源コード (赤) の順に接続します。
3. 取り付け終了後に、ディスプレイユニットのリセットボタンを押します。



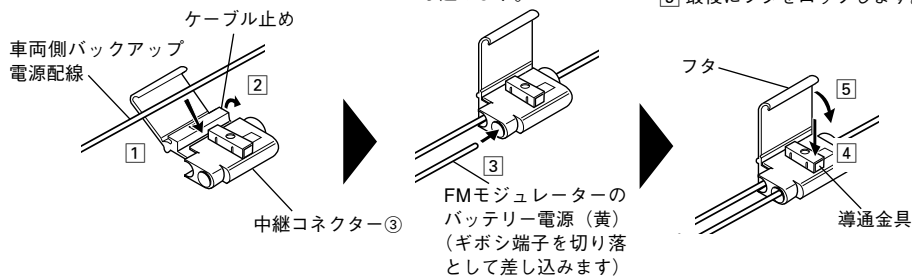
注意

- ケーブル類は余裕をもたせて配線してください。無理に引っ張ると断線したり、ショートすることがあります。
- アクセサリ電源コード (赤) とバッテリー電源コード (黄) は、必ず指定の場所に接続し、同じ場所にまとめて接続しないでください。
- ヒューズが切れた場合は、コードがショートしていないことを確認してください。確認後、ヒューズボックスに表示されている容量のヒューズと交換してください。



### ■ 電源中継コネクターの使いかた

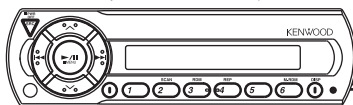
- 1 車両側バックアップ電源配線を差し込みます。
- 2 ケーブル止めをロックします。
- 3 FMモジュレーターのパッケージケーブルのギボシ端子を切り落として差し込みます。
- 4 プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
- 5 最後にフタをロックします。



アクセサリ電源 (赤) も同様に電源中継コネクターを使って車両側アクセサリ電源配線に接続できます。

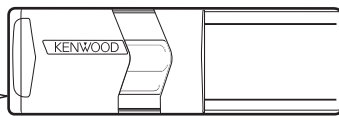


ディスプレイユニット

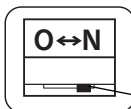


コントロール出力ケーブル (2m)

ディスクチェンジャー



O-Nスイッチ



“N”

チェンジャーコード (5m) (別売品)

ディスクチェンジャー入力

AUX入力機能付き  
カーオーディオ

RCAコード (別売品)

オーディオ右出力  
オーディオ左出力

FMモジュレーター  
ユニット

コントロール入力

又は

車両アンテナ端子

アンテナ入力  
(1.5m)

カーFMラジオ

アンテナ出力 (1.5m)

バッテリー電源⊕ (1.5m) ...黄

メインヒューズを通り、常に電圧のかかっている電源(キースイッチのON/OFFとは関係のない電源)に接続します。⇨ **A**

アクセサリ電源⊕ (1.5m) ...赤

キースイッチでON/OFFできる電源(ACCライン)に接続します。⇨ **B**

アース⊖ (1.5m) ...黒

車の金属部分(バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部)に接続します。⇨ **C**

**MEMO** ▶ 別売品のCA-600シリーズ(電源配線用コネクター)を使うと電源配線が簡単に行えます。使用できるCA-600シリーズは、接続する車種により異なります。詳しくはカタログをご覧ください。

# 故障かな？と思ったら

## 電源が入らない

- FMモジュレーターユニットの入出力が接続されていない。
- ヒューズが切れている。
- 取り付け直後で、マイコンが正常に動作していない。

- FMモジュレーターユニットのケーブルを接続してください。(24ページ)
- 配線がショートしていないことを確認して、指定のヒューズを交換してください。
- ディスプレイユニットのリセットボタンを押してください。(6ページ)

## ディスプレイに何も表示されない/ディスクの演奏が始まらない

ディスプレイユニットのコントロール出力ケーブルが完全に接続されていない。

コントロール出力ケーブルを確実に接続してください。(24ページ)

## ディスクの表示はプレイになっているが音が出ない

- カーFMラジオの電源がオンになっていない。
- カーFMラジオの音量が最小になっている。
- カーFMラジオの周波数が合っていない。
- カーラジオのアンテナコードなどの接続が不完全になっている。
- なんらかの原因で、マイコンが正常に動作していない。
- ディスクが異常に汚れている。

- カーFMラジオの電源をオンにしてください。
- カーFMラジオの音量を適度に上げてください。
- カーFMラジオの周波数を合わせてください。
- 取扱説明書に従って配線をチェックしてください。(24ページ)
- ディスプレイユニットのリセットボタンを押してください。(6ページ)
- 「CDのお手入れ」または「MDのお手入れ」(7ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

## 指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする

- CDが裏返しになっている。
- ディスクを入れた場所と指定No.が違う。
- ディスクに傷や汚れなどが付いている。

- ディスクマガジンを取り出してCDを正しく入れ直してください。
- ディスクマガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。
- 他のディスクを使用してください。

## 音質が悪い(再生中雑音が出る)

- ディスクの音質が悪い。
- ディスクに傷や汚れなどが付いている。
- 録音レベルの大きいディスクを聴いている。

- 他のディスクを再生して問題がなければ、ディスク自身の問題です。
- 「CDのお手入れ」または「MDのお手入れ」(7ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- 「FMモジュレーターレベル設定」を参照して設定してください。(18ページ)

### 選曲動作をしても目的の曲にならない

トラックランダムモードになっている。

トラックランダムモードを解除してください。(14ページ)

### ダイレクトトラックサーチまたはダイレクトディスクサーチができない

他の機能がオンになっている。

ランダムプレイモードや他の機能を解除してください。

### トラックサーチができない

ディスクの最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、ディスクの最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはサーチできません。

### 振動により音が飛んでしまう

- ディスクチェンジャーが不安定な場所に固定してある。
- ディスクチェンジャーに荷物があたっている。
- ディスクチェンジャーの角度調整スイッチが間違えて設定されている。

●しっかりとした場所へ取り付けてください。

●荷物があたらないようにしてください。

●ディスクチェンジャーの角度調整スイッチを正しく設定してください。

## MP3

### MP3ディスク、MP3ファイルがプレイできない

- MP3ファイルに拡張子が付いてない。
- ディスクに傷や汚れがある。

●MP3ファイルには“.MP3”を付けてください。

●「CDのお手入れ」または「MDのお手入れ」(7ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

### MP3ファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「CDのお手入れ」または「MDのお手入れ」(7ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

### MP3ディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

MP3ファイル以外に“.MP3”拡張子が付いている。

MP3ファイル以外に付いている“.MP3”拡張子を消去してください。

### 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

—

# 故障かな？と思ったら

## MP3

### MP3ディスクをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。

最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

### MP3ファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

### CD-RWに記録したMP3ファイルがプレイされない

CD-RWの消去を簡易フォーマットで行ったため。

CD-RWを消去するときは、フルフォーマットで行ってください。

### トラックサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはサーチできません。

## 無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。  
●ディスクマガジンが完全に入っていない。  
など
- NO DISC** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- TOC Error** : ●ディスクが異常に汚れている。  
●ディスクが裏返しになっている。  
●ディスクに傷が多く付いている。  
●ディスクが入っていない。  
●トレイが入っていない。
- BLANK DISC** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
- E-12** : ディスクのデータ読み込みが完了していない。

## システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。  
➡本機のリセットボタンを押してください。"E-77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。  
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。  
●何らかの原因で正常に動作していない。  
➡ディスクマガジンが正常にセットされているか確認し、その後ディスプレイユニットのリセットボタンを押してください。リセットボタンを押しても“Mecha Error”表示が消えないときは、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold Error** : ディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。  
➡ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

# 保証とアフターサービス **よくお読みください**

## 保証について

### ●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

### ●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

●本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)

●製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

●技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

●部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

# 仕様一覧

## 【オーディオ部】

|              |   |
|--------------|---|
| モジュレーション周波数  | 87.7, 87.9, 88.1, 88.3, 88.5, 88.7,<br>88.9, 89.1, 89.3, 89.5, 89.7, 89.9 MHz<br>(200 kHz ステップ) |
| プリアウトレベル     | 1000mV/10k $\Omega$ (CD/CD-CHプレイ時)  |
| プリアウトインピーダンス | 600 $\Omega$ 以下   |

## 【電源部その他】

|             |                  |
|-------------|------------------|
| 電源電圧 (⊖アース) | 14.4 V (11~16 V) |
| 最大消費電流      | 1.0 A            |
| 使用温度範囲      | -10~50 °C        |

## 【寸法・質量 (重さ)】

|               |              |
|---------------|--------------|
| 外形寸法 (W×H×D)  |              |
| リモートコントローラー   | 45×140×29 mm |
| ディスプレイユニット    | 154×43×17 mm |
| FMモジュレーターユニット | 126×30×69 mm |
| 質量 (重さ)       |              |
| リモートコントローラー   | 90 g         |
| ディスプレイユニット    | 145 g        |
| FMモジュレーターユニット | 400 g        |

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。  
カスタマーサポートセンター 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山11-16-2 電話(045)933-5212 FAX(045)933-5553  
カスタマーサポートセンター大阪 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308  
受付時間 9:00～18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。